

議会報告

令和2年9月那珂川市議会定例会

会期23日間(9月3日から9月25日まで)

議案17件、報告3件、認定10件、意見書2件が
上程され審議されました。

一般会計補正予算 1億5,860万円余減額
令和2年度一般会計予算 264億7,396万円余

■主な議案のみご紹介します

- 博多南駅駐車場の使用料が値上げされます。
- 市庁舎に災害用マンホールトイレが設置されます。
- かわせみバス12人乗りを32人乗りに買替えます。
- 7カ所の避難所に自動ラップ式トイレが整備されます。

詳しくは、春田ともあきホームページ <http://haru3.net/> をご覧ください。

■定例議会を振りかえって

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年2月以降の経済活動の低迷により市税全体で▲2億5,950万円余
税収の減収見込みが発表されました。

コロナ禍により本年度中止となった事業や先送りできるものは先送りし、削減や縮小できるものは削減、縮小とする補正予算が計上されました。



参照: 2020 一般社団法人 日本老年医学学会©

9月議会 一般質問

「コロナフレイル対策を！」

- 質問 新型コロナウイルスの行動自粛による高齢者の心身にもたらす深刻な状況について把握しているか。
- 部長 身体機能や認知機能の低下などがみられ好ましくない状況。
- 質問 コロナ禍の影響から要介護度が変わるケースが増えている。4月から8月末までの要介護度変更希望者数と昨年の4月から8月末までの希望者数は。
- 部長 今年は92件、昨年は60件で32件の増加。
- 質問 コロナ禍の外出自粛による高齢者の健康状態が悪化した状態を指す「コロナフレイル」。このコロナフレイルに対しての本市の対策は。
- 部長 高齢者の生命や健康を最優先としたうえで、新しい生活様式を取り入れ、事業の展開を図る。

「新型コロナウイルス感染症の影響による 行事の今後について」

- 質問 地域住民のコミュニティを作り出し、社会経済活動においても重要な役割を担っている各イベント、コロナ禍においてアイデアを出し合い創意工夫して取り組めないか。
- 部長 適切な感染防止対策を講じたうえで、今後イベント開催可否の判断をしていきたい。
- 質問 自治会等における会議や講演、イベントなどのチェックシートを作成し地域社会のコロナ禍における「新しい生活様式」を提案すべきだと考えるが。
- 部長 行政区や関係団体が主催するイベントの実施の可否について、適宜情報の提供を行う。